

第3回ブロック代表理事会議レポート

Block Representative Director Meeting Report

(BRMレポート)

2030年以降の全国大会の目的素案を策定～素案へのご意見（アンケート回答）をお願いします！

各ブロックのユ協代表として選出されたブロック代表理事による協議の場、ブロック代表理事会議（BRM）の第3回を12/25に開催しました。今回は、第1回、第2回の議論を反映し「全国大会の意義・目的」の7つの素案を作成しました。ユ協便臨時号（1/14メール配信）でご案内のとおり、素案についてのご意見を募集してます。

2030年以降の全国大会について、ぜひ会員の皆様のお考えをお聞かせください！

アンケートQRコード



3月31日まで受付中！

第3回会議のポイント

「意義・目的」のキーワードを整理

これまでの議論、各理事がヒアリングした意見などから、意義・目的の要素となる以下のキーワードを抽出しました。

<キーワード>平和構築、会員のエンパワメント（実行力を増す、意欲を高める）、活動やユ協のエンパワメント（より活発になる、共感者が増える）、発信、交流、理念共有など

7つの素案を策定

左記のキーワードをベースに、7つの素案を策定しました。

現段階では、さまざまな目的、方向性が含まれていますが、全国大会ですべてを追い求めることはできません。会員の皆さんから意見を聞き、今後、現実的な運営方針を検討するなかで、目的を絞って精査しています。

<全国大会の意義・目的 7素案>

発信

- ① 社会に向けて民間ユネスコ活動をアピールし、新たなサポーターや会員を増やすことを目指す場

エンパワメント

- ② 社会課題に対応したユネスコ運動の方針を協議し、社会に向けて発信する場
- ③ 会員が見識を広げ、参加者間の交流を深めることで、活動力を高める場
- ④ ユネスコの理念に賛同する人たちが、持続可能な社会の実現に向けて主体的に参加し、行動変容をもたらす場

平和

- ⑤ 平和への理解を深め、その後の活動につなげる場

連帯 帰属意識

- ⑥ 全国大会の参加者がユネスコ精神を確認し合い、帰属意識を高め、連帯感を強める場

UNESCO

- ⑦ UNESCOの方針を再認識し、関連団体の核としてのUNESCOの目的の普及・推進に繋げる

次回（第4回BRM）の開催は2月14日（土）を予定しています。
ご意見・ご質問については、各ブロック代表理事までお気軽にお寄せください！



林
(北海道)

高橋
(東北)

★部会長
岸
(関東)

永野
(関東)

伊東
(中部東)

平井
(中部西)

山中
(近畿)

★副部会長
鈴木
(中国)

土居
(四国)

白石
(九州)



公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟